

建交労大阪府本部



春の仲間づくり宣言

労働組合にはいって、働きやすい職場をつくらう！

大阪府本部は、3月2日（月）午前8時15分から淀屋橋駅前で「春の仲間づくり」宣言を行いました。福祉保育労、自治労連、JMTU、化学一般、大阪市労組、建交労など各単産から弁士としてマイクをにぎり、建交労大阪府本部から荻田書記長が弁士として「20春闘で多くのみなさんと一緒に労働条件の改善、誰もが8時間働けば人間らしく生活出来る。こんな社会の実現をめざすため、労働組合への加入を呼びかけます。また、運輸業は規制緩和後、運送賃の価格競争によって運送賃が引き下げられ、時間計算すると最低賃金ギリギリの金額で働いている運転手が現在もたくさんいます。そして、若者からも敬遠される業種の1つになっている、私たち建交労は、若者から魅力ある職場に変えて行くために日々奮闘している。」訴えました。

大阪府本部 春の組織拡大宣伝行動

2名で、ティッシュを入れた組織拡大ビラを500個配布しました。

大阪府本部は、3月6日（金）春闘集中行動ゾーンとして取り組んだ組織拡大宣伝行動を午前9時30分から終日、大阪府下で取り組みました。運転手・荻田書記長、弁士・前村執行委員長、堺東駅前では、スポット宣伝を約40分間行い、大阪府本部・荻田書記長と大阪合同支部・伊藤執行委員の



らな家庭など、休んだ時の賃金保障が当時はなかった。にもかかわらず、安倍首相は専門家の意見すら聞かず急に休校を要請するな

淀屋橋駅前でのティッシュビラは45分で1,000個配布、全体の参加者は24名、建交労から、前村執行委員長と荻田書記長が参加しました。



大阪総行動

賃上げで8時間働けば人間らしく暮らせる社会に

春闘で大幅な賃上げ実現をめざし、3月12日（木）大阪総行動に取り組みました。新型コロナウイルス感染が懸念されるため、建交労西日本鉄道本部が予定していた関西日本本社前での抗議宣伝行動



が中止となり、その他、大阪労連・春闘共闘委員会の共催で取り組まれていた、午後からの大阪女神像前での集会とデモ行進が中止となりましたが、早朝からなら

ば、栄町と淀屋橋駅前の2カ所で行われました。建交労大阪府本部は淀屋橋駅前に結集し、前村執行委員長、山本副委員長、荻田書記長が参加、荻田書記長が弁士として訴えました。訴えで荻田書記長は「建交労は他業種にわたって組織していますが、大阪は運輸・建設業が中心に組織されており、中でも運輸業は規制緩和後、価格競争によって運送賃が引き下げられ、そのしわ寄せとしてドライバーの賃金が低く抑えられることになっている。賃金が低く抑えられているため、長時間労働しないままともな生活が出来ない状況になっている。こういう劣悪な労働条件が原因で、若者から敬遠される業種となり、運輸業の近い将来に全く光が見えない深刻な問

題になっている。私たち建交労は、運輸業で働く労働者についても8時間働けば人間らしく生きる事が出来る大幅な賃上げ実現をめざし、2020年春闘で奮闘している。一方、新型コロナウイルスによる影響で、インバウンドからの仕事が激減し、3月には全く仕事がない状況になっている。インバウンド専門のバス会社で働く従業員は、会社から自宅待機と言われ、1ヶ月の賃金は14万円しか支給されてない。これでは人間らしく生活が出来ない。さらに、安倍首相は専門家の意見も聞かずに、いきなり小・中・高校の一斉休校を要請しました。医療関係で働く看護師や児童保育で働く先生の家庭の事など考えずに無責任な発表である。一斉休校を要請するならば、どうしても仕事にできないなら、自宅にひとり留守番させられないため休みを取らざるを得ない家庭の人など、

が中止となり、その他、大阪労連・春闘共闘委員会の共催で取り組まれていた、午後からの大阪女神像前での集会とデモ行進が中止となりましたが、早朝からなら

ば、栄町と淀屋橋駅前の2カ所で行われました。建交労大阪府本部は淀屋橋駅前に結集し、前村執行委員長、山本副委員長、荻田書記長が参加、荻田書記長が弁士として訴えました。訴えで荻田書記長は「建交労は他業種にわたって組織していますが、大阪は運輸・建設業が中心に組織されており、中でも運輸業は規制緩和後、価格競争によって運送賃が引き下げられ、そのしわ寄せとしてドライバーの賃金が低く抑えられることになっている。賃金が低く抑えられているため、長時間労働しないままともな生活が出来ない状況になっている。こういう劣悪な労働条件が原因で、若者から敬遠される業種となり、運輸業の近い将来に全く光が見えない深刻な問

題になっている。私たち建交労は、運輸業で働く労働者についても8時間働けば人間らしく生きる事が出来る大幅な賃上げ実現をめざし、2020年春闘で奮闘している。一方、新型コロナウイルスによる影響で、インバウンドからの仕事が激減し、3月には全く仕事がない状況になっている。インバウンド専門のバス会社で働く従業員は、会社から自宅待機と言われ、1ヶ月の賃金は14万円しか支給されてない。これでは人間らしく生活が出来ない。さらに、安倍首相は専門家の意見も聞かずに、いきなり小・中・高校の一斉休校を要請しました。医療関係で働く看護師や児童保育で働く先生の家庭の事など考えずに無責任な発表である。一斉休校を要請するならば、どうしても仕事にできないなら、自宅にひとり留守番させられないため休みを取らざるを得ない家庭の人など、

大陽液送 偽装請負に対し、集団提訴

3月16日（月）大陽液送が配送業務の下請である大田貨物運送への直接指示を出すなど「偽装請負」を

3月16日（月）大陽液送が配送業務の下請である大田貨物運送への直接指示を出すなど「偽装請負」を断っていたとし、大陽液送分會、大田貨物運送の各名が大陽液送を相手に、直接雇用、賃金格差是正を求め集団提訴しました。2018年6月の組合結成より2年間、大田貨物運送と団体交渉を行ってききましたが、夏季、年末一時金、春闘で

の賃上げ、全てゼロ回答で、全く前に進みませんでした。そこで、堺総合法律事務所の前田弁護士に「どうすれば良いか相談したところ、「これは偽装請負ではないか」との判断でした。私達は「なぜ同じ仕事をしてるのに、大陽液送社員との賃金格差がこんなに大きいのか？」と疑問に感じておりました。同じ制服、同じヘルメット、車両は大陽液送所有、車庫も同じ、配送先の追加や変更などの指示も大陽液送の配車係から受けています。「請負契

約なのに実態は派遣労働させられており、違法じゃないのか。」と主張しました。しかし、大陽液送側の返答は、「大田貨物運送からの従業員の派遣を受けているものではない。」との事でした。私たちは出来れば裁判ではなく、大陽液送、そして大田貨物運送との話し合いの中で解決したかったです。これは裁判で正すしか無いと判断、提訴に至りました。



今後、裁判にて直接雇用、賃金格差是正を勝ち取るべく6名団結し戦っていきます。大陽液送分會大田貨物運送 長谷川達三

思いがけない事故に強〜い味方 自動車共済

1. 等級別割引・割増の継承可能!
2. 24時間フリーダイヤル事故受付!
3. 割安な共済掛金、補償は充実!
4. 組合員の立場で示談交渉!
5. 車両共済・人身傷害共済 その他特約あり

まずはFAXで見積りを!

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

少ない掛金で大きな保障! 生命共済

●50口加入の場合の保障内容

基本契約	すべての死亡、重度障害(1-2級と3級の一部)	500万円
傷害特約	不慮の事故による	
死亡共済金		500万円
障害共済金(1-14級)		500-20万円
災害入院共済金		5,000円

お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

